

NPO 法人 小石川後樂園庭園保存会

代表者	会長：清水 馨八郎 理事長：末 正明
所在地	〒112-0004 東京都文京区後楽2-6-1（末商会内）
設立年月日	平成14（2002）年11月20日

【設立趣旨】

東京都文京区にある「小石川後樂園」は、寛永6（1629）年に水戸徳川家の祖である徳川頼房が江戸の上屋敷の庭園として造成に取りかかり、二代藩主徳川光圀の代に完成した回遊式泉水庭園で、学術的、文化的価値が高く、昭和27（1952）年には国の特別史跡・特別名勝の指定を受けています。

本会は、こうした学術・文化的価値が高く、しかも東京中心部にあって環境・景観・レクリエーション的価値の高い小石川後樂園庭園に関する保存、啓発、活用について、多様な視点から積極的な支援活動をおこない、貴重な文化資産を後世に継承していくことを目的としてつくられた地域ぐるみの活動組織です。

【沿革】

本会は、平成9年に任意団体として発足し、平成14年に「NPO 法人小石川後樂園庭園保存会」として東京都から認証を受け、以後、東京都・文京区等の行政や関係団体・事業者からの協力と支援を受け、庭園保存・啓発活動のほか、庭園入園者との交流などさまざまな活動をすすめるとともに、平成18年から全国の大名庭園保存活動をつづけている団体と連携して「大名庭園民間交流協議会」を設立し、平成21年10月には「小石川後樂園」を主会場として、「第四回大名庭園サミット・東京大会」を開催します。

【活動目的】

本会では、特別史跡・特別名勝である「小石川後樂園」の学術・文化的価値の保存と一層の価値を高めるため、次の3点を主な活動目的としています。

- ◎小石川後樂園の学術・文化的資産について調査研究を深めます
- ◎小石川後樂園の学術・文化的資産価値の保存・継承をすすめます
- ◎交流・啓発を一層拡大します

【活動内容】

本会では活動目的を達成するため、次のような活動をおこなっています。

●史跡の復元・再生活動（図1）

小石川後樂園内の史跡復元活動の一貫として、平成19年度には関東大震災で消失した「清水観音堂」の復元をめざし、「小石川後樂園魅力アップ事業」（都立公園サポーター基金特定事業計画）として、「清水観音堂」の模型制作をおこない、東京都に寄贈しました。また、平成20年度には、大成建設自然・歴史環境基金の助成を受け、千代田区所有のエコボートを活用し、小石川後樂園を含め、神田川沿いの史跡をつなぐ「儒学ルート」開設のため、神田川をめぐる事業をおこないました。



（図1）神田川沿いの史跡をめぐる「儒学ルート」設定のための活動

●研修会の開催（図2）

年2回程度、会員及び関係団体を対象に「大名庭園」に関する研修・交流を深めるため、「歴史と文化の研修会」を開催しています。平成20年度には、「儒学と水のオープンミュージアム」「旧安田楠雄邸の魅力と石州流茶に学ぶ」をテーマとして、江戸の水運発達史や日本住宅様式をよく保存している「旧安田楠雄邸」の見学などをおこないました。



（図2）「旧安田邸」で開催した「歴史と文化の研修会」

●講演会の開催（図3）

大名庭園に学術・文化的価値に関する会員などの教育研修をすすめる一貫で、毎年、大学関係者や専門家などを招へいし、講演会を開催しています。平成20年度には、「神田川下流域の今昔」と題し、中林裕貴氏（あそんで学ぶ環境と科学倶楽部理事長）の講演をおこないました。



（図3）「神田川下流域の今昔」講演会

●環境清掃活動

小石川後樂園内及び周辺の景観保全や環境美化の一貫で、会員や関係団体の協力による環境保全活動を定期的に行っています。

●茶会の開催

小石川後樂園内で水戸徳川家ゆかりの「茶道石州流林泉寺派」による茶会を定期的に行っています。（初釜、梅まつり、紅葉まつりなど）

●交流イベントへの参加（図4）

小石川後樂園では、庭園を管理する（財）東京都公園協会主催で毎年、「梅まつり」「紅葉まつり」を開催しています。本会でも小石川後樂園の文化的価値の一層の普及・啓発をはかるため、（社）水戸観光協会とタイアップして、「水戸黄門さまご一行のご出座」「梅大使の受け入れ」などおこない、広く入園者との交流を深めています。



（図4）「梅まつり」で入園者と交流する「黄門様ご一行と水戸・梅大使」

●本会会報「庭園保存会だより」の発行

本会活動報告や大名庭園に関するさまざまな分野から提言など、小石川後樂園庭園の普及・啓発を一層深めるため、毎年2回『庭園保存会だより』を発行し、会員・行政・関係団体などに配布しています。

●「第四回大名庭園サミット・東京大会」の開催（図5）

本会を含め、全国各地の著名な大名庭園にかかわる関係団体によって設立された「大名庭園民間交流協議会」では、平成18年に設立総会をかねて「金沢・兼六園」で「大名庭園サミット」を開催して多数の参加者と魅力あるプログラムをおこなってきました。平成21年度は「小石川後樂園」を主会場として、10月23・24日の日程で「第四回大名庭園サミット・東京大会」を開催し、大名庭園の学術・文化的資産としての保存継承、普及啓発をすすめるとともに、会員・参加者の交流を深めます。



（図5）10月23・24日に開催する「第四回大名庭園サミット・東京大会」

【活動上の課題と今後の展望】

会員の拡大、若者の入会勧誘に努力したい。第4回大名庭園サミットを活用し、文京区のみならず、東京の各地区から多くの人たちの参加を求めている。また、今後も岡山後樂園、水戸偕楽園、金沢兼六園、高松栗林公園との提携を密にして、文化観光を促進し、さらに大名庭園交流協議会の拡大発展に努めていきたい。又、一方で、儒学水上ルート整備に民間協力し、「神田川に和船を」構想を実現に向け推進したい。